

昭和二十四年十一月十一日提出
質問 第二一九号

脱税に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和二十四年十一月十一日

提出者 横田甚太郎

衆議院議長 幣原喜重郎 殿

脱税に関する質問主意書

日本の税制改革を勧告したカール・シヤウプ教授は一九四九年十月三十日UP記者との会見で「日本では脱税が異常に多い。もし脱税が平時の水準になれば減税が可能であり、脱税を一掃すれば大幅な減税を行うことができる。」と語っているが、

- 一 この見解に対する政府の意見如何。
- 二 脱税はどの位あると思うか。
- 三 脱税の税種はどの位で、誰がやっているか。
- 四 脱税の平時水準とはどれだけの額か。
脱税の件数はどれ程か。
一件平均の脱税額はどれ程か。

五 日本税制を勧告する外人に、ちよつと来て脱税と見破られるものを、日本政府はどのようにして脱税とし

て適當の処置がとれないのか。

右質問する。